



開発途上国における
サステイナブル・カカオ・
プラットフォーム



児童労働撤廃に向けたJICAの取組



JICAガバナンス・平和構築部
法・司法チーム

-持続可能な開発目標（SDGs）

-人間の安全保障

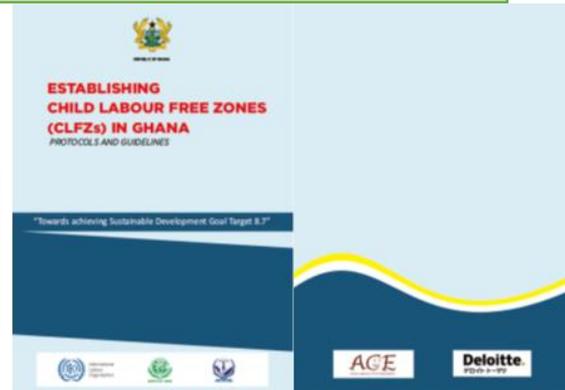
-「ビジネスと人権」に関する行動計画

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bhr/index.html>
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/files/100104121.pdf>



児童労働撤廃に向けたJICAの主な取組

2019年度	児童労働撤廃に向けた取組を開始
2020年1月	「開発途上国におけるサステイナブル・カカオ・プラットフォーム」設立
2020年3月	ガーナChild Labour Free Zoneガイドライン公表
2020年10月～	ガーナ「カカオ・セクターを中心とした児童労働にかかる情報収集・確認調査」
2021年2月～	コートジボワール「ブロックチェーン技術を活用した児童労働の防止に係る情報収集・確認調査」
2021年9月	ガーナ政府からの協力要請（*プロジェクト形成を検討中）
2021年12月	児童労働分科会設置



プラットフォーム

会員：業界団体、企業、コンサルタント、NGO、弁護士 他

(42団体と76個人) ※2022年2月現在

- (1) 会員間の情報・経験の共有
- (2) 会員間の協働の促進
- (3) 国内外に対する発信 等

連携
学び合い

国際的なパートナーシップ
ILO, UNICEF, 世界カカオ財団,
国際カカオイニシアティブ, 米国
労働省、各国のサステナブル・
カカオ・プラットフォーム
(GISCO, SWISSCO, etc.)

参加 / 共創・協働
資源動員
知見の共有

JICA主導事業



*ガーナにおける
新規事業形成中

企業・NGO等
主導事業

人権DD・グリーン
ンスメカニズムの
設計

日本の市民への発信

経済社会開発

責任ある企業行動
消費行動 (エシカル消費等)

事業

開発途上国における社会的、経済的、環境的に持続可能なカカオ産業
(=サステナブル・カカオ) の実現への貢献

カカオに関連するJICA事業

No	国名	案件名	パートナー	スケジュール
●民間企業が実施する事業への融資（海外投融資）				
1	ガーナ	カカオ豆バリューチェーン強化事業	借入人：Ghana Cocoa BoardCOCOBOD	2020年2月14日融資契約調印
2	インドネシア	カカオ輸出促進・小規模農家支援	借入人：Olam International Limited	2020年4月28日融資契約調印
●民間企業の提案に基づいて実施する事業（中小企業・SDGsビジネス支援事業）				
3	マダガスカル	高品質カカオのバリューチェーン構築のための普及・実証・ビジネス化事業	提案者：株式会社明治	19年7月～23年3月
4	ギニア	森林保全に配慮した高品質カカオの普及・実証・ビジネス化事業	提案者：兼松株式会社、株式会社立花商店	19年9月～23年5月
5	エクアドル	トレーサビリティプリンティングシステムによるカカオの高付加価値化の案件化調査	提案者：株式会社シンメイ	21年4月～22年6月

No	国名	案件名	パートナー	スケジュール
● NGO、地方自治体等の提案に基づいて実施する事業（草の根技術協力事業）				
6	インドネシア	安全・安心品質でのカカオ加工技術を活かしたつくば市・ポアレモ県の食農産業の共同振興事業	提案者：茨城県つくば市	2018年2月～21年12月
● 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（国際共同研究事業）				
7	フィリピン	難防除病害管理技術の創出によるバナナ・カカオの持続的生産体制の確立プロジェクト	提案者：玉川大学（日本側代表機関）、セントラル・ルソン大学（フィリピン側代表機関）	21年11月～26年11月
● JICAが実施する調査				
8	ガーナ	カカオ・セクターを中心とした児童労働に係る情報収集・確認調査	委託先：認定NPO法人ACE、アイ・シー・ネット株式会社	20年10月～22年6月
9	コートジボワール	ブロックチェーン技術を活用した児童労働の防止に係る情報収集・確認調査	委託先：デロイト トーマツ コンサルティング合同会社、デロイト トーマツ ファイナンシャルアドバイザリー合同会社、DLTラボス株式会社	21年2月～22年2月